

社会科学の拠点づくりとオープンな議論の場づくり

TOKAI原子力サイエンスフォーラム2014

【日 時】平成 26 年 10 月 26 日(日) 13:00～16:30

【場 所】リコッティ 多目的ホール

次 第

1. 開 会

2. 東海村長 山田 修 あいさつ

3. 地域社会と原子力に関する社会科学研究支援事業 中間報告

『どのような高レベル放射性廃棄物の「処分」が望ましいのか』
-東海村における住民意見の調査と分析-

渡辺 凜さん(東京大学 工学系研究科 修士1年)

寿楽 浩太さん(東京電機大学 人間科学系列 助教)

4. 講演Ⅰ

『原発地元の未来をいっしょに考えよう』

朴 勝俊さん(関西学院大学 総合政策学部 教授)

5. 講演Ⅱ

『エネルギーの社会的リスクと経済性』

内山 洋司さん(筑波大学 システム情報系 教授)

6. 対 話 -ダイアローグ-

7. 閉 会

講演者プロフィール

朴 勝俊さん(関西学院大学 総合政策学部 教授)

1974 年大阪府生まれ。博士・経済学。専門は環境経済学，環境政策。神戸大学大学院経済学研究科修了後，2002 年度から京都産業大学経済学部勤務。2010 年度より関西学院大学総合政策学部准教授，2014 年度より同教授。主著に『環境税制改革の「二重の配当」』（晃洋書房，2009），『脱原発で地元経済は破綻しない』（高文研，2013），『鏡の中の自己認識：日本と韓国の歴史・文化・未来』（お茶の水書房，2012，東郷和彦氏と共編著），訳書にヘニッケ & ザイフリート著『ネガワットー発想の転換から生まれる次世代エネルギー』（省エネルギーセンター，2001），その他論文等多数。

内山 洋司さん(筑波大学 システム情報系 教授)

1949 年 神奈川県生まれ。東京工業大学工学部卒業，大学院原子核工学専攻博士課程修了。大学院在学中，スウェーデン，シャルマース工科大学物理学科に留学。（財）電力中央研究所に入所後，米国電力研究所に客員研究員，電力中央研究所上席研究員，東京工業大学客員教授などを務め，2000 年から筑波大学機能工学系教授。経済産業省独立行政法人評価委員会委員（部会長）。茨城県総合計画審議会委員。（一社）エネルギー・資源学会会長，（一社）エレクトロヒートセンター副会長。専門はエネルギーシステム分析，ライフサイクル評価。著書に「エネルギー工学と社会」「エネルギーシステムの社会リスク」など多数。